

平成 2 3 年行政事業レビューシート (厚生労働省)										
事業名		地域保健総合推進事業費		担当部局庁		健康局		作成責任者		
事業開始・終了(予定) 年度		平成18年度		担当課室		総務課地域保健室		政田 敏裕		
会計区分		一般会計		施策名		VI-3-8 健康危機管理体制を整備する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)		-		関係する計画、通知等		「地域保健総合推進事業費の国庫補助について」				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		全国衛生部長会、全国保健所長会等の全国組織を活用した調査研究事業等を行い、全国規模での地域保健サービスの客観的なニーズの把握や妥当性の検証、地域保健活動の成果の普及等により、地域保健活動を総合的かつ効果的に推進する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)		以下の事業を行う(財)日本公衆衛生協会に対し補助する。(補助率10／10) ・各種事業の企画、妥当性の確認、進行管理、評価等を行うために、委員会等を設置する。 ・全国衛生部長会、全国保健所長会等の全国組織を活用し、地域の特性を踏まえた地域保健活動の現状把握を行い、地域保健対策に関する調査研究事業を実施する。 ・地域保健に従事する専門技術職員の資質向上を図る。 ・地域住民のニーズに応じた市町村活動等を推進するため、成功している実践事例を分析評価して、全国各地に情報を提供する。 ・国外の地域保健に関する諸施策や状況等の把握、情報の収集及び交換を行う。								
実施方法		☐ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☒ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)				20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
		予算 の 状 況	当初予算	263	245	181	170	169		
			補正予算							
			繰越し等							
			計	263	245	181	170	169		
		執行額		263	245	181	170			
		執行率 (%)		100	100	100	100			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		成果指標				単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
		本事業は、地域の特性を踏まえた地域保健活動の現状把握や実践事例を分析評価し、情報提供などを行う経費であることから成果実績にはなじまない。			成果実績		-	-	-	-
					達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標				単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
		本事業は、地域の特性を踏まえた地域保健活動の現状把握や実践事例を分析評価し、情報提供などを行う経費であることから活動実績にはなじまない。			活動実績 (当初見込み)		-	-	-	-
							-	-	-	-
単位当たりコスト		-			算出根拠	-				
平成23・24年度予算内訳	費 目		23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由					
	団体向け補助金		170	169						
計		170	169							

事業所管部局による点検			
	評 価	項 目	特記事項
目 的・予 算 状 況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	－	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資 金 の 流 れ、使 途・費 目	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活 動 実 績、成 果 実 績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点 検 結 果		全国規模での地域保健サービスの客観的なニーズの把握や妥当性の検証、地域保健活動の成果の普及等により、地域保健活動を総合的かつ効果的に推進するものであり、引き続き推進すべきと判断。	
予算監視・効率化チームの所見			
現 状 通 り		事業の必要性、予算の執行の観点からの評価としては概ね妥当であるが、引き続き効率的な執行に努めること。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
-			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

平成22年度

厚生労働省
181百万円

〔 交付申請書の内容審査・交付決定 〕

【補助】

A（財）日本公衆衛生協会
181百万円

〔 地域保健の総合的な企画・評価等を実施 〕

【随意契約】

B.民間企業 22百万円
(内訳)上位10者

1.	社団法人 全国保健センター連合会	4 百万円
2.	株式会社 コングレ	4 百万円
3.	株式会社 イベント&コンベンションハウス	3 百万円
4.	株式会社 社会保険研究所	3 百万円
5.	日立電線ネットワークス株式会社	2 百万円
6.	株式会社 アロウィーン	2 百万円
7.	株式会社 医療産業研究所	1 百万円
8.	株式会社 まほろば	1 百万円
9.	有限会社 アルファテキスト	1 百万円
10.	株式会社 コモン計画研究所	1 百万円

〔 研究事業の一部(調査票作成、報告書作成、
発表会運営等を含む。)を実施 〕

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単
位:百万円)

費目・使途
（「資金の流れ」
においてブロッ
クごとに最大の
金額が支出され
ている者につい
て記載する。費
目と使途の双方
で実情が分かる
ように記載）

A.(財)日本公衆衛生協会			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
旅費	分科会等出席旅費	47			
印刷製本費	研究報告書等の印刷製本費	20			
諸謝金	分科会等出席者講師謝金	38			
委託料	研究事業の一部委託費等	22			
消耗品費	事務用品購入等	9			
使用料及び賃借料	分科会会場借料費等	10			
賃金	会議準備等のための臨時雇用者	12			
その他	郵送料等	12			
計		170	計		0
B.社団法人 全国保健センター連合会			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
諸謝金	調査票の作成並びに報告書作成等に携わった有識者への謝金	2			
賃金等	資料整理アルバイト賃金等	2			
計		4	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	財団法人日本公衆衛生協	地域保健の総合的な企画・評価等を実施	181百万円		

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	社団法人 全国保健センター連 合会	研究事業の一部(調査票作成、報告書作成、発表会運営等を含む。)	4百万円	随意契約	
2	株式会社 コングレ	研究事業の一部(調査票作成、報告書作成、発表会運営等を含む。)	4百万円	-	
3	株式会社 イベント&コンベン ションハウス	研究事業の一部(調査票作成、報告書作成、発表会運営等を含む。)	3百万円	-	
4	株式会社 社会保険研究所	研究事業の一部(調査票作成、報告書作成、発表会運営等を含む。)	3百万円	随意契約	
5	日立電線ネットワークス 株式 会社	研究事業の一部(調査票作成、報告書作成、発表会運営等を含む。)	2百万円	随意契約	
6	株式会社 アロウィーン	研究事業の一部(調査票作成、報告書作成、発表会運営等を含む。)	2百万円	随意契約	
7	株式会社 医療産業研究所	研究事業の一部(調査票作成、報告書作成、発表会運営等を含む。)	1百万円	-	
8	株式会社 まほろば	研究事業の一部(調査票作成、報告書作成、発表会運営等を含む。)	1百万円	随意契約	
9	有限会社 アルファテキスト	研究事業の一部(調査票作成、報告書作成、発表会運営等を含む。)	1百万円	随意契約	
10	株式会社 コモン計画研究所	研究事業の一部(調査票作成、報告書作成、発表会運営等を含む。)	1百万円	随意契約	